

**【日本建設×野原産業エンジニアリング】**  
**現場は生きている！**  
**住まい手の生活を想像し、より良いものを追求するプロたちのリアル**  
～フレンシア学芸大学における WOODSPEC フェザルーバーの挑戦～



■建築のプロたち\_左から順に武田氏(日本建設)、梅岡氏(日本建設)、村上氏(野原産業エンジニアリング)、鶴若氏(日本建設)

撮影：北村(野原産業エンジニアリング)

“イノベーションはどうしたら生まれる？”

多くの企業がイノベーションをうみだすために様々な試みをしている昨今、プロジェクトの大小に関係なく、**プロとしての真剣さが創意工夫を生み、その積み重ねが、イノベーションの芽**となっていくのではないかと感じた現場があります。

それは、“フレンシア学芸大学”

そこには、建築のプロたちが、**建物完成後の住まい手の暮らしに思いを馳せ、ルーバー(視界や光の量をコントロールする建材)をめぐって設計・施工(現場)でアイデアを出し合いながらより良い品質を追求**していく姿がありました。

今号では、野原産業エンジニアリングのお客様である日本建設株式会社 関係者の皆さまにご協力いただきました。

<フレンシア学芸大学>

住所：東京都目黒区中央1丁目15番8号

事業主：相互住宅株式会社

設計施工：日本建設株式会社

物件用途：集合住宅

竣工時期：2020年2月7日



写真提供：日本建設株式会社

## ■住まい手の生活を想像し、創意工夫した目隠しルーバー開発物語

### —設計をご担当された梅岡さん。フレンシア学芸大学について教えていただけますか？

**梅岡毅さん(以下、梅)**：フレンシアシリーズは、相互住宅様の賃貸マンションシリーズで、一部屋の広さは40㎡程度のもので多いです。当社は約10年前から、同シリーズの一定数を設計施工させていただいています。ターゲットとしては若者が多いようですが、当社の設計施工案件では、**上品で温かみのあるデザイン**を目指しています。ただ、今回のフレンシア学芸大学ではそれだけでなく、特殊事情も考慮しました。

### —特殊事情というのは？

**梅**：計画地は**都市計画道路（幅20m）の整備工事中のエリア**に面している土地でした。道路整備が完成すると、それなりに並木通りになるのではないかとこの土地です。しかし、道路完成までの数年間、**住まい手にとってはすぐ隣が道路工事の現場**というのはいかかなものかと。加えて、砂利道である私道にも接していました。設計構想段階から、**外部が全部見えないように、柔らかかに視線を遮るものとしてルーバーをイメージ**していました。しかし、当初、設計図書に盛り込むことができませんでした。

**武田夏樹さん(以下、武)**：ルーバーの線は着工時の図面には入っていませんでしたので、私はガラスの仕上げだと思い込んでいたし、工事の予算にもルーバー費用は含まれていなかったんです。ただ、私たちは、**工期中であっても、より良いものを目指したく、更なる魅力づけとしてできることはないかを事業主と打ち合わせ**をしながら進めていくようにして、今回のルーバー設置も、最終的には事業主からも前向きなご協力を得て実現しました。

とはいえ、ルーバーの話は工期終盤にさし掛かってきたとき。現場所長としては、**工期内に納まるかが常に気になっていましたね**。工事主任の鶴若さんと、ルーバー設置のタイミングを見定め、調整しながら完成にこぎつけました。

**鶴若和哉さん(以下、鶴)**：ルーバーは最終的に**野原産業エンジニアリングのオリジナル製品「WOODSPEC フェザルーバー」**で、同社の村上さんの仕事ぶりにはこれまでの付き合いからも安心してはいましたが、今回の現場ではルーバーの納まりや下地がどうなるのか、ヤキモキしましたね。

### —村上さん、ルーバーの具体的な検討はいつごろから？

**村上治夫さん(以下、村)**：この現場では、バルコニーの手すりなどの金属工事を請け負っていました。ルーバーについては、10～11月に梅岡さんからお話をいただいて、本格的に検討をはじめたのが11月末頃だったと思います。

2020年1月6日に設置したので、製作期間は1ヶ月未満！



【設計担当】梅岡 毅氏  
入隅と出墨の納めが建物の良し悪しを決めると信じる。  
(日本建設株式会社)



【現場所長】武田夏樹氏  
現場経験10年。  
学生時代に教わったReal artists ship(最後まで見届ける)、が座右の銘  
(日本建設株式会社)



【工事主任】鶴若和哉氏  
現場一筋11年。  
真剣にやれば知恵がでる、が座右の銘  
(日本建設株式会社)

**梅：**竣工が近づくにつれて、建物の完成イメージが見えてきて、やはり、内外の視線を柔らかく遮るためのルーバーが必要だと思いました。  
現場所長である武田さんも事業主にルーバーの必要性を説明してくれ、事業主の方々も現場を見て、工期終盤でルーバー設置が確定しました。しかし、いくつか課題もあったので、村上さんに相談したのです。

### ールーバー設置の課題とは？

**梅：**①奥行き寸法の確保、②ガラスに面して内外から見えるため背面固定ではなく上下固定の納まり、③コストはできるだけ抑える、が課題でした。建物が面する道路が最終的には大通りになることを前提にファサード(外壁)を決めていたのですが、これらの課題を解決できるルーバーを探していました。

**村：**私自身、上下固定でフェザールーバーを設置するなんてできない、と勝手に思い込んでいたので、当初はフェザールーバーでない別製品を梅岡さんに提案しました。しかし、コストはクリアできたものの質感や色合いの面でNG。そこで、同程度のコストで対応できるフェザールーバーで再提案しました。

### ーフェザールーバーを提案されたときの率直な気持ちは？

**梅：**私はエントランスファサードにルーバーを使うことが多いのですが、選定時のポイントは、ルーバーの奥行き(幅)ですね。奥行きがあると、**視点の移動に応じて、見える範囲と見えない範囲がコントロールできる**のが良いところ。フェザールーバーは知っていたのですが、今回は室内からも外からも見えるルーバーを探していたので、芯材が見えて芯材の色も建物の色からしても目立ちすぎるフェザールーバーは頭になかったというのが正直なところ。ただ、フェザールーバー自体の色味や、アルミ芯材による強度については、その良さが分かっていたつもりです。

村上さんは、私のイメージをもとに、他社製品もふくめ前向きに考えてくれました。



**武：**フェザールーバーは細かいリブがあって、肌触りが良く質感が優れていると感じましたね。今回のルーバーの設置予定場所には植栽もあり、ルーバーを触りに行く方はいないと思いますが、万が一、**小さいお子さんが触ってもケガの心配は少ないのではないか**とも感じましたね。

**梅：**フェザールーバーは木粉入りの再生木材で耐久性は問題ないと理解していました。また、今回の現場で使いたい木目の色とフェザールーバーの色が近かったですし、フェザールーバーはアルミ製の木目調ルーバーに比べ、**より天然木に近い温かみ**を感じます。

**村：**梅岡さんや武田さんには、質感とコストでOKをいただき、あとはガラス面にどうやってフ



【金属工事のプロ】  
村上治夫氏  
お客様の期待に応えることと工期厳守がポリシー  
(野原産業エンジニアリング株式会社)

フェザルーバーを上下固定で設置するか。これが最大の難問でした。

## —フェザルーバーでこれまでにない納まりを実現するまでのプロセスを教えてください

**村**：実は、日ごろからフェザルーバーで上下固定ができればもっと用途が広がるのにな、と思っていました。今回、**住まい手の生活を考えた梅岡や武田さん、鶴若さんの熱い思い**にも動かされ、私自身、これまでの常識や思い込みを捨てて、どうにかできないかと考えるようになっていました。



**梅**：私は、村上さんが置いていってくれたフェザルーバーのサンプルを手に取りながら眺めていたのですが、ふと、二つをつなげればどうなるのかなと思い、イメージを膨らませていきました。途中、村上さんにも電話やメールで、アイデアを伝えたりもしましたね。



**武**：梅岡さんと村上さんは、現場事務所では夜な夜なアイデア出し。自分はその横でお二人のやり取りを聞きながら、“ルーバー2枚付??費用は大丈夫??”と気になりつつも、ベストな施工時期を確定させるために、鶴若さんと工程確認に注力していましたね。

**村**：梅岡さんは、ご自分の考えがぶれず、良いものへの思い入れが強い方。三人で現場事務所サンプルとにらめっこしては、あーでもない、こうでもない、といいながらホワイトボードに絵をかいていたのですが、**お互いにふっと思い付いた瞬間**がありました。これで行ける、とお互いに思っで作った試作品第一号は12月半ばにできたのですが、上下固定をするためのステンレス製のフラットバータイプ(厚いステンレスの板材を合わせたもの)の特注金物が溶接工程も多く**コストもかかるため断念**。コストを抑えないといけないことは分かっていたので、別の考え方に切り替えました。



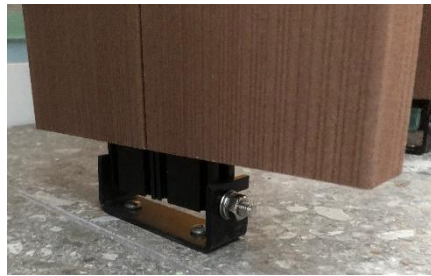
■ 試作品第一号

## —発想の転換をされたということですね？

**村**：はい。ステンレスは現場での加工が容易でないことや施工性にも課題がありました。そこでプレート型のものにしようと思いましたが、というのも、業界では、金物は棒ものか板ものの二種類。そこで、板もののプレートに変更し、ルーバーを組んだ状態(少し出た状態で)で現場に納入すれば、現場での設置作業も楽かなと思いました。

最終的には、**ブラケット(薄いステンレスの板を曲げたもの)**にし、**協力業者と上下固定の納まり検証も実施**して、行けると確信しました！**コストも、当初のフラットバーよりダウン**。すぐに、梅岡さんに連絡しましたね。

梅：納まったね、という感じは記憶に残っています。村上さんは、施工の手順や施工場所、全体の寸法誤差もあるし、それらの**施工上の観点からも最適解**を考えてくれました。実際、この納まりのすごいところは、**コの字の小さい曲げパーツだけ作ればよい、というシンプルさ**が素晴らしいと思いました。



■完成型

**—特注とはいえ、新型をおこすことなく、既存フェザルローバーを二枚つなぎ合わせ、シンプルな金物で上下固定する、という、まさに皆さんの創意工夫の結晶ですね！**

村：はい。ローバー自体と金物と、トータルコストも抑えられ、短い工期にも間に合い、なによりも良かったと思うのは、ローバー設置に関する課題をすべてクリアできたことです！

武：業界としても、時短や効率化に取り組んでいる一方で、**梅岡さんと村上さんの試みはモノづくりに必要なエネルギーで、魅力も感じましたね**。今回、限られた時間の中で、しかも、すでにあるものを最大限活用しながら現場の条件を満たすローバーはもちろん、ビスのサイズや取付け金物などが段階的に決まっていたのは悪くないと思います。

**—現場での施工は順調でしたか？**

鶴：4～5人の職人さんたちが設置してくれましたが、「下地は入ってる？大丈夫？」と何度も聞かれました。

武：ガラス面の外側に設置するのですが、上下固定する面はすでに仕上がっていました。フェザルローバーの設置を一回で決められなければ、仕上がっていた設置面もやり直しになるので、結構なプレッシャーだったと思います。



村：施工日の1月6日は現場に行けないことが分かっていたので、申し訳なく思いまして事前に協力会社の方に施工の説明をしました。当日、協力会社の方からは、全部で13本の特注(奥行き2倍)フェザルローバーを5～6時間で設置できたと連絡をうけ、ホッとしました。

梅、武、鶴：施工性は高いと感じました。手間のかかる作業だと思っていましたが意外と早かったですね。金物の取り付け方も良かったです。

武：私は、今回の奥行のある上下固定のフェザルローバーは下地を選ばずに設置できるなと思い

ました。今あるマンションでも、構造躯体を大きくいじらずに外壁にルーバーを付けて印象を変える、というのもできるかもと。一般住宅でも簡便にできるなとも思いました。設置場所の採寸だけでできれば、汎用性が高い！！

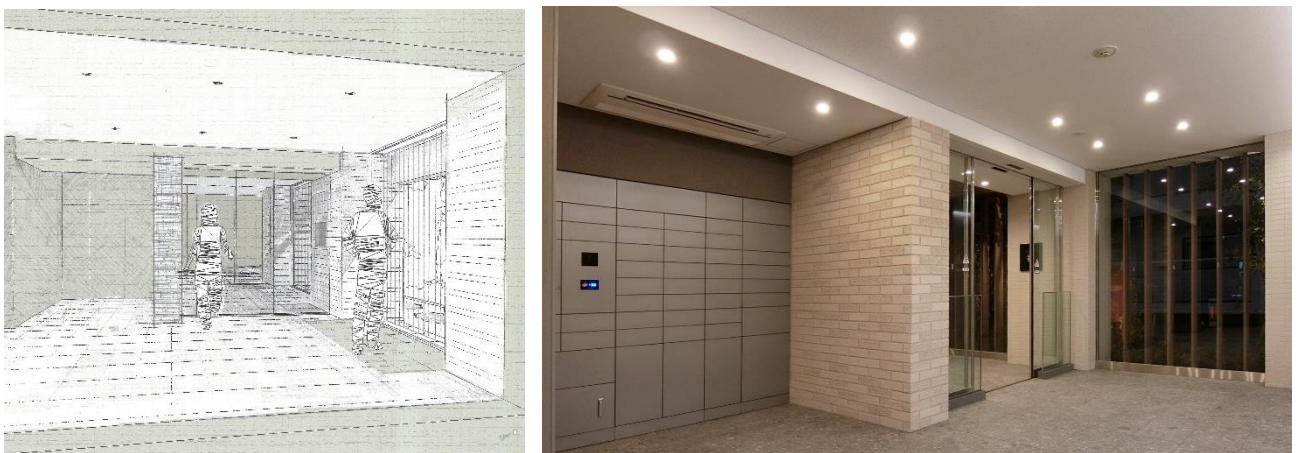
村：ただ、課題も見つかりました。現場での施工性を良くするために更なる改良を計画中です。



### フェザールーバーを設置し、建物全体の仕上がりを見たときの感想は？

武：フェザールーバーを設置して良かったと感じましたし、設置の意味がより理解できました。というのも、フェザールーバーは、風除け室とエントランスの窓ガラス部分の外側に設置したのですが、エントランスホール側は上階からの避難経路となっており消防法により、植栽を設けられないエリアでした。もし、フェザールーバーを設置していなかったら、植栽のない部分だけ外観イメージが損なわれたり、エントランスホール部分が外部から丸見えになってセキュリティやプライバシー確保の面で住まい手が不安を抱いたかもしれない。

本当に、この現場では、設計、施工管理、村上さんと、各担当の力を総結集して、限られた時間とコストの中で、意匠(デザイン)、法律面においても最良のカタチで対応できた現場です。



#### ■ エントランス部分のビフォー&アフター比較

左：梅岡氏による構想時のパース図(右部開口面にはルーバーを想起させる上下線が記されている)、右：竣工写真

梅：結果的に、コストを抑えつつも良いものが提供できたのではないかと。都市計画道路を作っている横での物件は初めてでしたが、作業所は道路工事の中で本当によく調整、対応してくれた、という印象です。完成度をみて、とても満足しました。特に、エントランスの周りは狙い通り

かそれ以上に良く、コンクリートの精度、手すりも陰影が深く評判が良い。  
**物件全体として、事業主も満足してくれたという手ごたえが嬉しかったですね。**

**鶴：電気がついて、水が出て、自分の仕事が間違っていなかったと思えたのが一番。設計図を形にするのが我々現場の仕事です。思った通りのものがその通りに出来上がっているのが気になっていましたが、事業主にも満足していただけたのは自信につながりますね。**

**武：私は、今回初めて所長を任せてもらった現場でもあり思い入れがありますね。部下には苦勞させたかもしれませんが、**工期中のみんなのエネルギーを感じてほしい**と思いました。そこで自分なりの工夫として、**施工中から現場の駐輪ラックに施工写真を貼ってPRしたり、事業主への物件引渡直前に、工事中の写真を完成後の同じ場所に重ね合わせて展示したりして、部下や職人さん全員の頑張りを事業主に紹介できたのも良かったです！****



**鶴：村上さんは有言実行の方。業者への確認にも積極的に動いてくれますし、工期が厳しければ現場にきて調整してくれたり、逆に積極的に私に連絡をしてくれたり。村上さんの仕事は、昔から安心感があります！**

**村：日本建設の方々は、私たち専門工事会社に対しても「お願いします」というスタンスでくださるので、お互いに気持ちよく仕事ができるし、自分としては頼られている感じもしてやる気ができますね！この現場でも金属工事、フェザルーパーと大変お世話になりました。ありがとうございました！**



■ フレンシア学芸大学に携わったプロたち\_左から順に、梅岡氏、武田氏、村上氏、鶴若氏

## “ 住まい手の生活を想像し、より良いものを追求する ”

建築業界で信念をもって真摯に仕事に向き合うプロたちが、限られた環境・条件のなかで創意工夫する姿。

そこには、互いの仕事ぶりを認め、尊重し合うという信頼関係があり、なんでも言い合える雰囲気  
が挑戦につながり、イノベーションの芽となるヒントを生むのではないかと感じた現場物語でした。  
(終了)

※文中の所属名および肩書は、2020年3月4日のインタビュー時点のものです。

### 日本建設株式会社について

昭和22年の設立以来、70年以上にわたりオフィスビルや集合住宅をはじめ商業施設、生産施設、教育・文化施設など幅広く新築・改修の施工に携わってまいりました。

2014(平成26)年には清水建設グループの一員となり、さらなる発展に向け新たな一歩を踏み出しています。

中堅ゼネコンならではの「機動性」と長年にわたり蓄積した「ノウハウ」、それを担う「経験豊富な人材」、そして「清水建設グループの総合力」を活かし、堅実にお客様のニーズにお応えしてまいります。

【会社 WEB サイト】 <http://www.tokyo-nikken.co.jp/>



### 野原産業エンジニアリング株式会社について

野原グループの工事を担う事業会社として、金属製建具工事、金属工事、内外装リフォーム、リニューアル工事などの専門工事を得意としています。また、豊かな未来を築くキーワードとして「環境・省エネ・安全・安心」を掲げ、地球にやさしく環境に配慮した建材(環境建材)の開発・販売にも注力しています。

昨今では、人工再生木の「WOODSPEC フェザールーバー/グレイステッキ」が弊社の環境建材を代表するオリジナル製品です。

私たちは、地球にやさしい「商品」「技術」で、お客様の資産価値向上に貢献するとともに、快適空間を追求する提案型エンジニアリング会社を目指します。

【会社 WEB サイト】 <https://eng.nohara-inc.co.jp/>

### リアルな木質感 | 新世代再生木シリーズ WOODSPEC フェザールーバーについて

「WOODSPEC フェザールーバー」は、地球環境に優しくデザイン性も兼ね備えた新世代の再生木シリーズ(環境建材)です。

“より質感にこだわりをもち、景観を大事にするお客様へ、施工性も重視した商品をご提案したい”という、施工会社ならではの思いを胸に、2014年に開発、発売して以来、木のぬくもりと安心安全の面から、教育施設や公共施設・スペースを中心に多くの物件でご採用いただいております。

【製品 WEB サイト】 <https://woodspec.jp/>





## 野原グループについて

---

野原グループは、綿の商いを始めた 1598 年の創業以来、時代の変化に合わせた変革や創造を繰り返しながら、今や建材や鉄鋼関連およびセメントなどの建設資材販売、道路交通標識などの販売・施工、景観土木工事など、建設業界を中心に事業を拡大しています。

近年は、「Innovation」・「Digitalization」・「Globalization」をキーワードにユニークな新規事業を続々と立ち上げています。

### 【発行元】

野原ホールディングス株式会社

〒160-0022 東京都新宿区新宿一丁目 1 番 11 号

社長室(担当/齋藤、青木)

電話：03-6328-1576 / e-mail：[nhrpreso@nohara-inc.co.jp](mailto:nhrpreso@nohara-inc.co.jp)

▼会社 WEB

<https://www.nohara-inc.co.jp>